

モニタリング結果報告書

施設 音楽堂
指定管理者 公益財団法人神奈川芸術文化財団
施設所管課 文化課

(平成 23 年度 下半期)

管理運営状況総括

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）

B

<判定理由>

東日本大震災の影響による、出演者の来日取り止めや施設利用のキャンセルなどもあったが、適切な施設維持、貸出、事業実施に努め、対前年度比で利用料収入及び入場者数の増を達成しており、提案どおりに取組みを実施していたと認められることからB判定とした。

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11/10	/	○	○	○	なし	10/10 公演「ブルガリアン・ヴォイス」をモニタリング。業務は適切に実施されていた。
11月	12/9	/	○	×	○	なし	月報等によりモニタリング。業務は適切に実施されていた。
12月	1/6	/	○	○	○	なし	12/11 公演「マリア」をモニタリング。業務は適切に実施されていた。
1月	2/10	/	○	○	○	なし	1/27 公演「聖母マリアの夕べの祈り」をモニタリング。業務は適切に実施されていた。
2月	3/9	/	○	○	○	なし	2/21 公演「東京クワルテット演奏会」をモニタリング。業務は適切に実施されていた。
3月	4/10	/	○	×	○	なし	月報等によりモニタリング。利用者視点による清掃モニタリングを取り入れるなど、清潔感や居心地の良さの向上に向けた取組みが実施された。

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載してください。

<提案内容の概要>

1 施設維持

利用者サービス向上を図るため以下の対応等を提案した。

- ①引き続き開館日・時間についての柔軟な対応。
- ②歴史ある音楽ホールを活用しつつ継承する施設管理の実施。

2 文化事業

音楽堂の設置目的と歴史を深く理解し、以下の点を踏まえ事業企画の実施を提案した。

- ①県民に開かれた音楽芸術活動及び鑑賞の拠点として、木のホールの音響と空間を活かす。
- ②子ども・青少年への音楽体験を積極的に提供する企画を実施。
- ③外部資金の確保に努める。

<実施状況>

1 施設維持

- ①休館日の臨時開館（3日間）、早朝からの開館（午前8時台、貸館 計24日間）。
- ②清潔感の向上に努めるべく、利用者・来館者の視点に立った清掃モニタリングを実施し、報告書を県に提出した。給湯設備更新工事、ホワイエ西側防水工事（一部）、窓ガラス更新工事（一部）等を実施し、施設設備の長寿命化に貢献した。

2 文化事業

- ①10月 第51回「音楽堂・おかあさんコーラス」（共催）。県内で活動する女声コーラスの団体なら誰でも参加できる開かれた大会。実行委員会主催で4日間実施し、参加団体156団体、のべ2,766人が参加。

音楽堂で鑑賞の幅を広げていただくための「世界の音楽」シリーズとして「ブルガリアン・ヴォイス」公演を実施。入場者数801人。

- 12月 音楽堂で長く開催されている県民参加型公演「クリスマス音楽会 音楽堂・メサイア演奏会」実施。今年度からその活性化と子ども・青少年の音楽体験を提供する目的で「メサイア未来プロジェクト」を11月に実施。県立生田高校生徒が本公演に部分的に参加するためのアウトリーチを合わせて実施。入場者数855人。

- 1月 音楽堂ニューイヤーコンサート「日本の音でお正月！」を実施。狂言や雅楽等を構成した独自企画。入場者数628人。1～2月に上半期中止公演の代替として3公演を実施。「聖母マリアの夕べの祈り」（入場者数622人）、「藤原真理チェロ・リサイタル～親愛なる言葉」（入場者数427人）、「東京クワルテット」（入場者数621人）。また、2月「音楽堂建築見学会 Vol. 2」を実施。入場者数306人。

- ②10～11月「横浜市教育プラットフォーム学校プログラム」横浜市内のアート系NPOと連携して実施。3日間にわたるワークショップや演奏会を通して小学生の創造性を伸ばす「体験型と鑑賞型プログラム」を実施。

10月 日野南小学校（3日間のワークショップ）、十日市場小学校（1日のみ。演奏会）

11月 勝田小学校（3日間のワークショップ）

- 11月 第26回横浜コンペティション（神奈川県芸術舞踊祭）を実施（共催）。震災のため、同水準のコンクールが中止されたことも影響し、全国各地から昨年を上回る人数が参加。

「第45回神奈川県名流三曲祭」（共催）を実施。出演者数34組。

- 1～2月 「音楽堂ふれあいアウトリーチ」県立茅ヶ崎養護学校（参加293人）、平塚盲学校（参加60人）。

2月 「子ども版建築見学会」を実施。横浜市立本町小学校及び一本松小学校児童が173人来館。

「第35回神奈川県合唱フェスティバル小学校合唱フェスティバル」（共催）を実施。入場者数のべ900人。

3月 「神奈川フィルハーモニー管弦楽団・聖響音楽堂シリーズ第3回」(共催)実施に合わせ公開リハーサル(主催)を実施。市立神奈川中学校吹奏学部生徒24人及び大口台小学校児童2人、引率他3人が参加。

※ ①②共に、公演の制作過程や当日の様子等を、ホームページブログ「音楽堂ほぼ毎日日記」で情報提供。
③上半期に引き続き、子ども・青少年対象の公演やアウトリーチ等を文化庁「優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業」として実施し、補助金6,950,099円が確定。「日本の音でお正月」に芸術文化振興基金の助成金(2,400千円)確定。

そのほか、個別協賛300,000円、法人賛助690,000円、個人賛助180,000円、広告協賛50,000円(計1,220,000円)の外部資金を獲得した。

4 収支状況(単位:千円)注:千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	248,109 (261,601)	174,182 (188,659)	34,300 (34,000)	39,627 (38,942)	248,109 (261,601)	0 (0)
下半年 予算額	134,489	97,487	17,152	19,850	134,489	0
10月	22,067	12,940	4,101	5,026	18,092	3,975
11月	21,860	12,554	3,628	5,678	18,693	3,167
12月	21,927	18,293	3,628	6	22,663	△ 736
1月	16,431	12,688	2,476	1,267	16,631	△ 200
2月	17,197	11,228	2,801	3,168	24,042	△ 6,845
3月	56,090	29,784	4,417	21,889	61,626	△ 5,536
今年度 半期計	155,572	97,487	21,051	37,034	161,747	△ 6,175
前年度 同期計	149,210	99,507	18,700	31,003	163,922	△ 14,712

- 1 指定管理者の収入を記載してください(県の収入である「使用料」は含みません。)
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載してください。

収支状況に関する意見等

- ① 年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載してください。
- ② 今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載してください。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載してください。
- ③ 今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又はマイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載してください。

<意見等>

①～③ 該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

100万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をより的確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載してください。
- 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載してください。
- 修繕等の一覧がある場合は、参考にご提供くださるようお願いいたします。

⇒該当なし

	金額	工事箇所・内容
上半期		
下半期		
総額		

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

⇒該当なし

	内容	金額(千円)
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載してください。
支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載してください。
積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載してください。

5 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
10月	22,646人	27,161人	△16.6%
11月	14,820人	17,015人	△12.9%
12月	12,105人	12,810人	△5.5%
1月	9,612人	5,677人	69.3%
2月	15,141人	15,776人	△4.0%
3月	15,529人	12,270人	26.6%

	目標利用者数	利用者数	前年同月 利用者数	目標対比 増減率	前年対比 増減率
今年度 上半期計	－ 人	76,282 人	75,398 人	－%	1.2%
今年度 下半期計	－ 人	89,853 人	90,709 人	－%	△0.9%

利用状況に関する意見等

- ① 今年度上（下）半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載してください（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載してください）。
- ② 目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載してください。
 なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ませんが、次回以降は記入してください。

<意見等>

- ①② 該当なし

6 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (0)	9 (0)
11月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (0)	9 (0)
12月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (0)	8 (0)
1月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (0)	10 (0)
2月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	3 (0)
3月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (0)	10 (0)
合計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	49 (0)	49 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

主共催事業来場者へのアンケート、貸館利用者へのアンケート調査、12月には利用者満足度調査として貸館利用の際の入場者にもアンケートを行った。主な意見は下記のとおり。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・座席が狭い。(19件)	建築構造上、変更改修が難しい。座席自体の座り心地改善へのプランあり。
	・ホールの音響、雰囲気がいよい。(17件)	館内を清潔に保ち、お客様へのご案内を親切丁寧に行った。
	・女子トイレの数が多く、きれいで気持ちよい。(9件)	特に催物の前後、休憩中に気持ちよくお使いいただけるようにトイレを清潔に保った。
	・トイレの数が少ない、女性トイレが2階にしかなく不便。(8件)	トイレを休憩中など限られた時間内にスムーズにご利用いただけるよう丁寧な案内を心掛けた。
	・ホール内が寒い。(5件)	適切な温度管理を行ったが、外気温が著しく低い、扉の開放時間、暖房能力の限界等による影響があった。
	・エレベーターを設置してほしい。(3件)	主に利用者からの要望。変更改修(増設含む)が難しい。
職員対応	・職員、舞台担当の対応がいよい。(8件)	お客様、利用者にご満足いただけるよう親切丁寧に対応した。
事業内容	・特になし。	
その他	・福祉作業所のお菓子等の販売がいよい。(11件)	神奈川県障害者地域作業所連絡協議会の協力を得て、主共催事業にホワイエにて販売を行い、好評。

8 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載してください。

なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出してください。

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
10月24日	リウマチの既往症がある女性客がホワイエのベンチ椅子から立ち上がる際、バランスを崩して転倒。手足を打撲し歩行困難となる。	本人の要望により、利用者が直接救急車を要請し、病院に搬送された。	お年寄りやお体の不自由な方をお見かけした場合には、必要に応じてお声掛け、サポートを行う。
2月12日	幼女がホール内の階段につまづき眉間を打って出血。	付き添っていた母の要望により救急車を要請し、病院に搬送された。	階段の上り下りの際は十分注意するようお声掛けする。

9 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載してください。

⇒該当なし

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果(指定管理者の課題の有無等を含む)
月 日 (月 日)			
月 日 (月 日)			

10 下半期の所見等

2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載してください。

<p>指定管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> 施設維持、貸し出し、事業実施などの確な業務遂行に努めている。 ホールや備品等の老朽化により、各種保守点検での指摘事項だけでなく小破修繕も多数出ている。また椅子の座り心地についての御意見を筆頭に、ホール内の温度(暑い・寒い)等についての苦情も恒常的に存在している。優先順位をつけて随時更新・修繕を検討すると共に、細かな工夫を重ね、安全で、少しでも快適なホールであることを目指している。また、利用者視点での清掃モニタリングを実施し、その結果を活かした改善を進めて行く。 利用者の要望に応え、開館日や利用時間など可能な限り弾力的に対応するとともに、親切な対応を行うことで学校関係、アマチュア等を中心にリピータを保持している。多くの方に御利用いただき、利用料収入も前年同期を上回っている。 主催事業では、50年近く継続している音楽堂恒例公演「メサイア」を次代へ継承する目的で「メサイア未来プロジェクト」を開始し、神奈川県合唱連盟の協力を得て、県立高校生徒が公演の一部に参加することが実現した。継続的な事業をいかに的確に継続していくかを課題として次年度以降も取り組んでいく。また子ども・青少年の音楽体験提供のためのアウトリーチでは、プログラムに伝統音楽も取り入れるなど、内容の充実を図った。本年度の新企画の一つ「公開リハーサル」は下半期に入ってようやく本格化した。引き続き学校関係への周知方法を工夫改善しつつ、多くの子ども・青少年へ音楽体験を提供できるよう実施していく。 東日本大震災と原発事故に影響を受けた上半期の主催事業の中止に対応し、代替公演として新たに3公演を実施し、県民が音楽堂で上質な音楽を楽しめる機会が減ることのないよう、機会の提供に努めた。
<p>施設所管課</p>	<ul style="list-style-type: none"> 第2期指定管理期間の初年度は、東日本大震災の影響を受けながらも、対前年度比で利用料収入及び入場者数の増を達成した。 まもなく開館60年を迎え、維持管理面では施設・設備の老朽化が大きな課題となっているが、細やかな保守点検・修繕により施設の長寿命化に努めるとともに、利用者視点での清掃モニタリングを取り入れるなど、快適性を高める工夫も実施している。引き続き、施設・設備の保守点検に万全を期すとともに、利用者にとって安全、快適なホールであるよう、適切な管理運営に努められたい。 事業面では、多彩な公演に加え、長年継続している公演「メサイア」に関連した、子ども・青少年の音楽体験提供のためのアウトリーチや、「音楽堂建築見学会 Vol. 2」を平日昼間に実施し、新たな観客層の開拓を図るなど、県民の鑑賞機会の拡充に努めた。引き続き、音響の良さや建築史的価値を持つ施設の特性を活かし、質の高い公演・事業を展開されたい。